

入出力基準・設計者チェックリスト（素案）

1. 入出力基準・設計者チェックリストの概要

① 入出力基準

入出力基準は、BIM 図面審査で用いる、BIM データの作成に関する基準であり、これに従って作成された BIM データから出力された図書に関する整合性の確認については、当該基準に応じて整合性が確保される図書の記載事項について、整合性の確認を省略することができる。

入出力基準では、BIM データから出力された図書の「形状」、「表記」又は「計算」に関して、図書の記載事項の整合性が確保されるための入出力の基準を定めている。

※1：素案においては、入出力基準については、設計者チェックリストの一部として公開する。

② 設計者チェックリスト

設計者チェックリストは、BIM 図面審査で用いる、入出力基準に従い BIM データの作成を行ったこと等について、設計者が申告を行う書類である。

※2：素案においては、設計者チェックリスト（構造）については、鉄筋コンクリート造・鉄骨造版を公開する。（その他の構造については順次、検討する予定。）

○設計者チェックリストの使い方イメージ

・申請者（設計者）は、「入出力基準に従い作成することで、図書の整合性が担保される事項」ごとに「入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書」について、○：該当する図書、－：該当しない図書の印を付す。

・BIM 図面審査の制度を利用する場合、申請者（設計者）は、以下を申告して整合性確認の省略を求める様式と、設計者チェックリストを確認申請時に提出する。

- ・整合性確認の省略を求める事項について、入出力基準に従って作成したこと
- ・PDF 形式の図面データと IFC データは、原則として同一の BIM データから同一の時点に出力したものであること

様式（申告書）のイメージ

③ その他

今回、公開する入出力基準・設計者チェックリストは素案であり、今回の意見照会の結果や今後の検討により、構成や内容が変わる可能性がある。

2. 用語の定義

用語	定義
概要（図書）	設計や工事に関する概要を記載した図面をいう。
建具表（図書）	建築の開口部（内外部）に取付ける建具の形状・寸法・材質・仕様等を表にまとめて示した図面をいう。
基準線	通り芯及び各階基準線をいう。
通り芯	柱や壁の中心を通る、建築物の水平方向の基準となる線をいう。
各階基準線	各階の床面位置を示す建築物の鉛直方向の基準となる線をいい、階の高さの算定根拠となるものをいう。
軒、ひさし等	外壁から張り出した部分のうち、軒、ひさし、バルコニー、ベランダ及び吹きさらしの廊下をいう。
防火区画等	令第 112 条の防火区画、令第 114 条の建築物の界壁、間仕切壁及び隔壁をいう。
非常用の進入口等	令第 126 条の 6 本文の非常用の進入口及び令第 126 条の 6 第 2 号の窓その他の開口部をいう。
オブジェクト	BIM モデルを構成する BIM の建物部材・部品等をいう。
空間オブジェクト	床、壁、天井、仮想の区切り等に囲まれた 3 次元のオブジェクトをいう。
図表現の整合性を損なう入出力	整合性確認省略の対象となる図書の図表現の整合性を損なう下例のような入出力をいう。 例 ・ 2 次元加筆を行うこと ・ 形状の表示、又は属性情報や自動算出・自動集計結果の表示・表記を、同一でないオブジェクトから行うこと ・ 図表現や属性情報の整合性が確保されていないオブジェクトを使用すること ・ 属性情報から出力された値の変更を行うこと ・ 自動算出された寸法値・床面積の変更を行うこと ・ 自動集計に係る計算式、値の変更を行うこと
2 次元加筆	BIM 上での 2 次元による加筆。「オブジェクトの形状の表示」「オブジェクトに入力した属性情報の表示・表記」「オブジェクトにより自動算出された数値や自動集計結果の表示・表記」ではなく、個別の図書のみで 2 次元要素として描画（加筆）された図表現（線分や塗りつぶし、文字・数値等）をいう。 例 ・ 断面図に線分で加筆された敷地境界線 ・ 平面図に数値で加筆された各室面積

3. 設計者チェックリスト

①設計者チェックリスト（意匠）

番号	入出力基準		入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書（※網掛欄は対象外）																					
	入出力基準に従い作成することで、図書の整合性が担保される事項	入出力の方法	概要	付近見取図	配置図	地盤面・平均地盤面算定表	敷地面積求積図	建築面積求積図	床面積求積図			各階平面図	立面図	断面図	建具表	室内仕上げ表、使用建築材料表	採光・換気計算書	排煙計算書	日影図	耐火構造等の構造詳細図	備考 ※図書の一部において、整合性確認の省略を求めない場合等は、その旨を備考に記載			
	細目								各階・各室の床面積	用途別の床面積	防火区画の床面積													
意-001	敷地境界線	①形状	・敷地境界線の形状は、敷地境界線オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
		②種別（道路境界線、隣地境界線などの別）	・敷地境界線の種別は、敷地境界線オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
		③各辺の長さ	・敷地境界線の各辺の長さは、敷地境界線オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
		④敷地面積	・敷地面積は、敷地境界線オブジェクトで自動算出し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
意-002	方位	-	・方位は、方位オブジェクトを入力する、又は BIM データに入力した方位の情報に連動する機能を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
意-003	通り芯	①形状	・通り芯の形状は、通り芯オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
		②符号	・通り芯の符号は、通り芯オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
		③通り芯間の寸法	・通り芯間の寸法は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
意-004	外壁	①形状	・外壁の形状は、壁オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
		②位置	・外壁の位置（敷地境界線から通り芯までの距離及び敷地境界線から外壁面までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
意-005	軒、ひさし等	①形状	・軒、ひさし等の形状は、屋根/床等のオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
		②位置	・軒、ひさし等の位置（敷地境界線から通り芯までの距離及び敷地境界線から軒、ひさし等の先端までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					

番号	入出力基準		入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書（※網掛欄は対象外）																			
	入出力基準に従い作成することで、図書の整合性が担保される事項	入出力の方法	概要	付近見取図	配置図	地盤面・平均地盤面算定表	敷地面積求積図	建築面積求積図	床面積求積図				各階平面図	立面図	断面図	建具表	室内仕上げ表、使用建築材料表	採光・換気計算書	排煙計算書	日影図	耐火構造等の構造詳細図	備考 ※図書の一部において、整合性確認の省略を求めない場合等は、その旨を備考に記載
									各階・各室の床面積	用途別の床面積	防火区画の床面積	防煙区画の床面積										
意-006	間仕切壁	①形状	<ul style="list-style-type: none"> 間仕切壁の形状は、壁オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																			
		②位置	<ul style="list-style-type: none"> 間仕切壁の位置（通り芯から間仕切壁までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																			
意-007	各室の用途	①室名等	<ul style="list-style-type: none"> 各室の用途は、各室の床面積の求積に用いる空間オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																			
意-008	各階基準線	①形状	<ul style="list-style-type: none"> 各階基準線の形状は、レベルを設定するオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																			
		②符号	<ul style="list-style-type: none"> 各階基準線の符号は、レベルを設定するオブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																			
		③各階基準線間の寸法	<ul style="list-style-type: none"> 各階基準線間の寸法は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																			
意-009	各階の床・軒・ひさし・屋根（天井のない場合は、屋根）	①形状	<ul style="list-style-type: none"> 各階の床・軒・ひさし・屋根の形状は、床/屋根/壁等のオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																			
		②地盤面からの建築物の各部分の高さ、平均地盤面からの建築物の各部分の高さ	<ul style="list-style-type: none"> 地盤面・平均地盤面は、レベルを設定するオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 地盤面又は平均地盤面からの建築物の各部分の高さは、地盤面又は平均地盤面を基点とし、オブジェクトと連動して各部分の高さを表記する機能又はオブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																			
意-010	建築面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	-	<ul style="list-style-type: none"> 建築面積の求積に用いる空間オブジェクトは、その境界が令第2条第1項第2号の基準に適合するよう入力する。 空間オブジェクトを軒等の端から後退して入力する場合、当該空間オブジェクトと軒等の端からの寸法は、軒等のオブジェクトと当該空間オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 建築面積は、当該空間オブジェクトで自動算出し、表示・表記する。 建築面積求積図には、当該空間オブジェクトの水平投影と、建築面積の求積範囲のわかる図（例：屋根伏図）を表示する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																			

番号	入出力基準		入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書（※網掛欄は対象外）																		
	入出力基準に従い作成することで、図書の整合性が担保される事項	入出力の方法	概要	付近見取図	配置図	地盤面・平均地盤面算定表	敷地面積求積図	建築面積求積図	床面積求積図			各階平面図	立面図	断面図	建具表	室内仕上げ表、使用建築材料表	採光・換気計算書	排煙計算書	日影図	耐火構造等の構造詳細図	備考 ※図書の一部において、整合性確認の省略を求めない場合等は、その旨を備考に記載
									各階・各室の床面積	用途別の床面積	防火区画の床面積										
意-011	各階の各室の床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	-	<ul style="list-style-type: none"> 床面積の求積に用いる空間オブジェクトは、その境界が令第2条第1項第3号の基準に適合するよう入力する。 ピロティ、吹きさらしの廊下、屋外階段等のうち床面積に算入しない部分については、当該空間オブジェクトと、算入の根拠となる軒等の端からの寸法を、軒等のオブジェクトと当該空間オブジェクトと連動する寸法線を用いて入力し、表示・表記する。 容積率算定の基礎となる延べ面積について、容積率の算定対象の別及び対象外とする場合の種別は、当該空間オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 床面積は、当該空間オブジェクトで自動算出・自動集計し、表示・表記する。 床面積求積図には、当該空間オブジェクトの水平投影と、床面積の求積範囲のわかる図（例：各階平面図）を表示する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																		
意-012	防火区画等	①位置	<ul style="list-style-type: none"> 防火区画等の位置は、壁オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																		
		②面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	<ul style="list-style-type: none"> 防火区画等の求積に用いる空間オブジェクトは、その境界が令第2条第1項第3号に規定された壁その他区画の中心線と一致するよう入力する。 防火区画等の面積は、当該空間オブジェクトで自動算出・自動集計し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																		
意-013	防煙壁による区画（令第126条の2）	①位置	<ul style="list-style-type: none"> 防煙壁による区画の位置は、壁オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																		
		②面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	<ul style="list-style-type: none"> 防煙壁による区画の求積に用いる空間オブジェクトは、その境界が令第2条第1項第3号に規定された壁その他区画の中心線と一致するよう入力する。 防煙壁による区画の面積は、当該空間オブジェクトで自動算出・自動集計し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																		
		③排煙設備の種別（自然排煙設備、機械排煙設備などの別）	<ul style="list-style-type: none"> 排煙設備の種別は、空間オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																		
意-014	開口部	①位置	<ul style="list-style-type: none"> 開口部の位置は、ドア/窓等のオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																		
		②形状、開閉方法	<ul style="list-style-type: none"> 開口部の形状及び開閉方法は、ドア/窓等のオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																		
		③幅、高さ（面積）	<ul style="list-style-type: none"> 開口部の幅及び高さ（面積）は、ドア/窓等のオブジェクトで自動算出し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 																		

番号	入出力基準		入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書（※網掛欄は対象外）																					
	入出力基準に従い作成することで、図書の整合性が担保される事項	入出力の方法	概要	付近見取図	配置図	地盤面・平均地盤面算定表	敷地面積積積図	建築面積積積図	床面積積積図			各階平面図	立面図	断面図	建具表	室内仕上げ表、使用建築材料表	採光・換気計算書	排煙計算書	日影図	耐火構造等の構造詳細図	備考 ※図書の一部において、整合性確認の省略を求めない場合等は、その旨を備考に記載			
									各階・各室の床面積	用途別の床面積	防火区画の床面積													
意-015	防火設備	①種別（防火設備、特定防火設備など）	・防火設備の種別は、ドア/窓等のオブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
		②位置	・防火設備の位置は、ドア/窓等のオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
		③閉鎖方法（常時閉鎖又は随時閉鎖）	・防火設備の閉鎖方法は、ドア/窓等のオブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
		④遮煙性能の有無	・防火設備の遮煙性能の有無は、ドア/窓等のオブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
		⑤構成する材料及び厚さ	・防火設備を構成する材料及び厚さは、ドア/窓等のオブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
意-016	非常用の進入口等	①位置	・非常用の進入口等の位置は、平面図・立面図が連動するよう設定された凡例を表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
		②種別	・非常用の進入口等の種別は、平面図・立面図が連動するよう設定された凡例を表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
意-017	令第112条第16項に規定する部分	①位置	・令第112条第16項に規定する外壁、ひさし、床、袖壁その他これらに類するものの位置は、壁/屋根/床等オブジェクトに属性情報として入力し、平面図・立面図が連動するよう設定された凡例を表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
意-018	令第126条第1項に規定する手すり壁、さく又は金網	①位置	・手すり壁、さく又は金網（安全上必要な高さが1.1m以上のもの）の位置は、手すり/壁等のオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
		②形状	・手すり壁、さく又は金網（安全上必要な高さが1.1m以上のもの）の形状は、手すり/壁等のオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					
		③床面から上端までの高さ	・床面から手すり壁、さく又は金網の上端までの高さは、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。																					

②設計者チェックリスト（構造（鉄筋コンクリート造））

番号	入出力基準			入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書（※網掛欄は対象外）								
	入出力基準に従い作成することで、 図書の整合性が担保される事項		入出力の方法	（使用構造材料一覧表・ 施工方法等計画書） 構造特記仕様書	基礎伏図	各階床伏図	屋根伏図	二面以上の軸組図	配筋標準図・溶接基準図・ 高力ボルト標準図他）	構造詳細図（断面リスト・ 基礎・地盤説明書	耐火構造等の詳細図	備考 ※図書の一部において、整合性確認の省略を求めない場合等は、その旨を備考に記載
	細目	内容										
RC-001	通り芯	①形状	-	・通り芯の形状は、通り芯オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		②符号	-	・通り芯の符号は、通り芯オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		③通り芯間の寸法	-	・通り芯間の寸法は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
RC-002	各階基準線	①形状	-	・各階基準線の形状は、レベルを設定するオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		②符号	-	・各階基準線の符号は、レベルを設定するオブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		③各階基準線間の寸法	-	・各階基準線間の寸法は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
RC-003	基礎ぐい	①形状及び符号	基礎ぐいの外形（円形等）、大きさ、長さ、符号	・基礎ぐいの形状（大きさ及び長さを含む）は、杭/基礎/柱オブジェクト等を用いて入力し、表示・表記する。 ・基礎ぐいの符号は、杭/基礎/柱オブジェクト等の属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		②位置	基礎ぐい設置の有無・配置（基準線からの寄り寸法と高さ含む）	・基礎ぐいの位置（基準線から基礎ぐいの中心までの距離及び基準線から基礎ぐいの天端までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		③構造方法	基礎ぐいの工法（場所打ちコンクリート杭、既成コンクリート杭、鋼管杭、木杭等）	・基礎ぐいの構造方法は、杭/基礎/柱オブジェクト等に属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		④材料の種別	基礎ぐいに使用する材料（鉄筋コンクリート造、既成コンクリート、鋼管、木等）、材料の種別・強度	・基礎ぐいの材料の種別は、杭/基礎/柱オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								

番号	入出力基準			入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書（※網掛欄は対象外）								
	入出力基準に従い作成することで、 図書の整合が担保される事項		入出力の方法	（使用構造材料一覧表・ 施工方法等計画書） 構造特記仕様書	基礎伏図	各階床伏図	屋根伏図	二面以上の軸組図	構造詳細図（断面リスト・ 配筋標準図・溶接基準図・ 高力ボルト標準図他）	基礎・地盤説明書	耐火構造等の詳細図	備考 ※図書の一部において、整合性確認の省略を求めない場合等は、その旨を備考に記載
	細目	内容										
RC-004	基礎	①形状及び符号	基礎の外形（矩形等）、幅、高さ、符号	・基礎の形状（幅及び高さを含む）は、基礎オブジェクト等を用いて入力し、表示・表記する。 ・基礎の符号は、基礎オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		②位置	基礎の配置（基準線からの寄り寸法と高さ含む）	・基礎の位置（基準線から基礎の中心までの距離及び基準線から基礎の天端までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		③構造方法	基礎の工法（べた基礎、布基礎、独立基礎、杭基礎）	・基礎の構造方法は、基礎オブジェクト等に属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		④材料の種別	基礎の材料（鉄筋コンクリート造等）、材料の種別・強度	・基礎の材料の種別は、基礎オブジェクト等に属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
RC-005	柱	①形状及び符号	柱の外形（円形、矩形等）、せい、幅、径、符号	・柱の形状（せい及び幅を含む）は、柱オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・柱の符号は、柱オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		②位置	柱の配置（基準線からの寄り寸法含む）	・柱の位置（基準線から柱の中心までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		③材料の種別	柱の使用材料（コンクリートの種別・強度、鉄筋の種別・強度）	・柱の材料の種別は、柱オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
RC-006	大ばり	①形状及び符号	大ばりの形状（矩形）、せい、高さ、符号	・大ばりの形状（せい及び高さを含む）は、梁オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・大ばりの符号は、梁オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		②位置	大ばりの配置（基準線からの寄り寸法と高さ含む）	・大ばりの位置（基準線から大ばりの中心及び基準線から大ばりの天端までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		③材料の種別	大ばりの使用材料（コンクリートの種別・強度、鉄筋の種別・強度）	・大ばりの材料の種別は、梁オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								

番号	入出力基準			入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書（※網掛欄は対象外）								
	入出力基準に従い作成することで、 図書の整合が担保される事項		入出力の方法	（使用構造材料一覧表・ 施工方法等計画書）	基礎伏図	各階床伏図	屋根伏図	二面以上の軸組図	構造詳細図（断面リスト・ 配筋標準図・溶接基準図・ 高力ボルト標準図他）	基礎・地盤説明書	耐火構造等の詳細図	備考 ※図書の一部において、整合性確認の省略を求めない場合等は、その旨を備考に記載
	細目	内容										
RC-007	小ばり	①形状及び符号	小ばりの形状（矩形）、せい、高さ、符号	・小ばりの形状（せい及び高さを含む）は、梁オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・小ばりの符号は、梁オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		②位置	小ばりの配置（基準線からの寄り寸法と高さ含む）	・小ばりの位置（基準線から小ばりの中心及び基準線から小ばりの天端までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		③材料の種別	小ばりの使用材料（コンクリートの種別・強度、鉄筋の種別・強度）	・小ばりの材料の種別は、梁オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
RC-008	床版	①形状及び符号	床版の厚さ及び符号	・床版の形状（厚さを含む）は、床オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・床版の符号は、床オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		②位置	床版の有無・配置（基準線からの高さ・片持ちの場合の基準線からの出寸法含む）	・床版の位置（基準線から床版の天端までの高さ及び片持ちの場合は基準線から先端までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		③開口の形状	床開口の外形形状	・床版の開口の形状は、床オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		④開口の位置	床開口の有無・配置	・床開口の位置（基準線から床開口までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		⑤材料の種別	床版の使用材料（コンクリートの種別・強度、鉄筋の種別・強度）	・床版の材料の種別は、床オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
RC-009	屋根版	①形状及び符号	屋根版の厚さ、符号	・屋根版の形状（厚を含む）は、床オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・屋根版の符号は、床オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		②位置	屋根版の有無・配置（基準線からの高さ・片持ちの場合の基準線からの出寸法含む）	・屋根版の位置（基準線から屋根版の天端までの高さ及び片持ちの場合は基準線から先端までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								

番号	入出力基準			入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書（※網掛欄は対象外）									
	入出力基準に従い作成することで、 図書の整合が担保される事項		入出力の方法	（使用構造材料一覧表・ 施工方法等計画書） 構造特記仕様書	基礎伏図	各階床伏図	屋根伏図	二面以上の軸組図	構造詳細図（断面リスト・ 配筋標準図・溶接基準図・ 高力ボルト標準図他）	基礎・地盤説明書	耐火構造等の詳細図	備考 ※図書の一部において、整合性確認の 省略を求めない場合等は、その旨を 備考に記載	
	細目	内容											
RC-009	屋根版	③材料の種類	屋根版の使用材料（コンクリートの種別・強度、鉄筋の種別・強度）	・屋根版の材料の種別は、床オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
RC-010	耐力壁	①形状及び符号	耐力壁の厚さ及び符号	・耐力壁の形状（厚さを含む）は、壁オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・耐力壁の符号は、壁オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		②位置	耐力壁の有無及び配置（基準線からの寄り寸法含む）	・耐力壁の位置（基準線から耐力壁の中心までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		③開口の形状及び寸法	耐力壁の開口の外形状	・耐力壁の開口の形状は、壁オブジェクト又はドア/窓等のオブジェクトを用いて入力し、耐力壁の開口の位置を表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
			耐力壁の開口の寸法	・耐力壁の開口の寸法は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		④開口の位置	耐力壁の開口の有無及び配置	・耐力壁の開口の位置（基準線から耐力壁の開口までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		⑤材料の種類	耐力壁の使用材料（コンクリートの種別及び強度、鉄筋の種別及び強度）	・壁の材料の種別は、壁オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
RC-011	非耐力壁	①形状及び符号	非耐力壁の厚さ及び符号	・非耐力壁の形状（厚さを含む）は、壁オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・非耐力壁の符号は、壁オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		②位置	非耐力壁の有無及び配置（基準線からの寄り寸法含む）	・非耐力壁の位置（基準線から非耐力壁までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		③開口の形状	非耐力壁の開口の外形状	・非耐力壁の開口の形状は、壁オブジェクト又はドア/窓等のオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		④開口の位置	非耐力壁の開口の有無及び配置	・非耐力壁の開口の位置（基準線から非耐力壁の開口までの距離）は、壁オブジェクト又はドア/窓等のオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									

番号	入出力基準			入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書（※網掛欄は対象外）								
	入出力基準に従い作成することで、 図書の整合性が担保される事項		入出力の方法	（使用構造材料一覧表・ 施工方法等計画書） 構造特記仕様書	基礎伏図	各階床伏図	屋根伏図	二面以上の軸組図	構造詳細図（断面リスト・ 配筋標準図・溶接基準図・ 高力ボルト標準図他）	基礎・地盤説明書	耐火構造等の詳細図	備考 ※図書の一部において、整合性確認の省略を求めない場合等は、その旨を備考に記載
	細目	内容										
RC-011	非耐力壁	⑤構造スリットの位置	構造スリットの有無及び配置	・構造スリットの位置は、ドア/窓等のオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		⑥材料の種別	非耐力壁の使用材料（コンクリートの種別及び強度、鉄筋の種別及び強度）	・壁の材料の種別は、壁オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
RC-012	モデル	①壁の位置	基準線に対する位置	・構造モデルの壁の位置は、意匠モデルの構造耐力上主要な部分の壁の位置と一致する方法を用いて、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		②柱の位置	基準線に対する位置	・構造モデルの柱は、意匠モデルの構造耐力上主要な部分の柱の位置と一致する方法を用いて、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		③梁の位置	基準線に対する位置	・構造モデルの梁は、意匠モデルの構造耐力上主要な部分の梁の位置と一致する方法を用いて、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		④床版の位置	基準線に対する位置	・構造モデルの床版は、意匠モデルの構造耐力上主要な部分の床版の位置と一致する方法を用いて、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		⑤基礎の位置	基準線に対する位置	・構造モデルの基礎は、意匠モデルの構造耐力上主要な部分の基礎の位置と一致する方法を用いて、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								

③設計者チェックリスト（構造（鉄骨造））

番号	入出力基準			入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書（※網掛欄は対象外）									
	入出力基準に従い作成することで、 図書の整合性が担保される事項		入出力の方法	構造特記仕様書 （使用構造材料一覧表・ 施工方法等計画書）	基礎伏図	各階床伏図	屋根伏図	二面以上の軸組図	配筋標準図・溶接基準図・ 高力ボルト標準図他）	基礎・地盤説明書	耐火構造等の詳細図	備考 ※図書の一部において、整合性確認の省略を求めない場合等は、その旨を備考に記載	
	細目	内容											
S-001	通り芯	①形状	-	・通り芯の形状は、通り芯オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		②符号	-	・通り芯の符号は、通り芯オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		③通り芯間の寸法	-	・通り芯間の寸法は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
S-002	各階基準線	①形状	-	・各階基準線の形状は、レベルを設定するオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		②符号	-	・各階基準線の符号は、レベルを設定するオブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		③各階基準線間の寸法	-	・各階基準線間の寸法は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
S-003	基礎ぐい	①形状及び符号	基礎ぐいの外形（円形等）、大きさ、長さ、符号	・基礎ぐいの形状（大きさ及び長さを含む）は、杭/基礎/柱オブジェクト等を用いて入力し、表示・表記する。 ・基礎ぐいの符号は、杭/基礎/柱オブジェクト等の属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		②位置	基礎ぐい設置の有無・配置（基準線からの寄り寸法と高さ含む）	・基礎ぐいの位置（基準線から基礎ぐいの中心までの距離及び基準線から基礎ぐいの天端までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		③構造方法	基礎ぐいの工法（場所打ちコンクリート杭、既成コンクリート杭、鋼管杭、木杭等）	・基礎ぐいの構造方法は、杭/基礎/柱オブジェクト等に属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		④材料の種別	基礎ぐいに使用する材料（鉄筋コンクリート造、既成コンクリート、鋼管、木等）、材料の種別・強度	・基礎ぐいの材料の種別は、杭/基礎/柱オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									

番号	入出力基準			入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書（※網掛欄は対象外）								
	入出力基準に従い作成することで、 図書の整合性が担保される事項		入出力の方法	（使用構造材料一覧表・ 施工方法等計画書） 構造特記仕様書	基礎伏図	各階床伏図	屋根伏図	二面以上の軸組図	構造詳細図（断面リスト・ 配筋標準図・溶接基準図・ 高力ボルト標準図他）	基礎・地盤説明書	耐火構造等の詳細図	備考 ※図書の一部において、整合性確認の省略を求めない場合等は、その旨を備考に記載
	細目	内容										
S-004	基礎	①形状及び符号	基礎の外形（矩形等）、幅、高さ、符号	・基礎の形状（幅及び高さを含む）は、基礎オブジェクト等を用いて入力し、表示・表記する。 ・基礎の符号は、基礎オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		②位置	基礎の配置（基準線からの寄り寸法と高さ含む）	・基礎の位置（基準線から基礎の中心までの距離及び基準線から基礎の天端までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		③構造方法	基礎の工法（べた基礎、布基礎、独立基礎、杭基礎）	・基礎の構造方法は、基礎オブジェクト等に属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		④材料の種別	基礎の材料（鉄筋コンクリート造等）、材料の種別・強度	・基礎の材料の種別は、基礎オブジェクト等に属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
S-005	柱	①形状及び符号	柱の外形（H型、円形、矩形）、せい、幅、径、厚さ、符号	・柱の形状（せい及び幅を含む）は、柱オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・柱の符号は、柱オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		②位置	柱（間柱含む）の配置（基準線からの寄り寸法含む）	・柱の位置（基準線から柱の中心までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		③柱脚の構造方法	柱の柱脚の工法（露出形式柱脚、根巻形式柱脚、埋込み形式柱脚）	・柱脚の構造方法は、柱オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		④材料の種別	柱の使用材料（鉄骨の種別・強度）	・柱の材料の種別は、柱オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
S-006	大ばり	①形状及び符号	大ばりの断面形状（H型等）、せい、高さ、厚さ、符号	・大ばりの形状（せい及び高さを含む）は、梁オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・大ばりの符号は、梁オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		②位置	大ばりの配置（基準線からの寄り寸法と高さ含む）	・大ばりの位置（基準線から大ばりまでの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		③継手及び仕口の構造方法	大ばりの継手及び仕口の構造方法（高力ボルト、ボルト、溶接等の接合）	・大ばりの継手及び仕口の構造方法は、梁オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								

番号	入出力基準			入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書（※網掛欄は対象外）										
	入出力基準に従い作成することで、 図書の整合性が担保される事項		入出力の方法	（使用構造材料一覧表・ 施工方法等計画書）	基礎伏図	各階床伏図	屋根伏図	二面以上の軸組図	構造詳細図（断面リスト・ 配筋標準図・溶接基準図・ 高力ボルト標準図他）	基礎・地盤説明書	耐火構造等の詳細図	備考 ※図書の一部において、整合性確認の省略を求めない場合等は、その旨を備考に記載		
	細目	内容												
S-006	大ばり	④継手位置	大ばりの継手位置（基準線からの寄り寸法含む）	・大ばりの継手位置（基準線から大ばりの継手位置までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。										
		⑤端部接合方法	大ばりの端部接合方法（剛接合、ピン接合）	・大ばりの端部接合方法は、梁オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。										
		⑥材料の種別	大ばりの使用材料（鉄骨の種別・強度）	・大ばりの材料の種別は、梁オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。										
S-007	小ばり	①形状及び符号	小ばりの断面形状（H型等）、せい、高さ、厚さ、符号	・小ばりの形状（せい及び高さを含む）は、梁オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・小ばりの符号は、梁オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。										
		②位置	小ばりの配置（基準線からの寄り寸法と高さ含む）	・小ばりの位置（基準線から小ばりの中心及び基準線から小ばりの天端までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。										
		③継手及び仕口の構造方法	小ばりの継手及び仕口の構造方法（高力ボルト、ボルト、溶接等の接合）	・小ばりの継手及び仕口の構造方法は、梁オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。										
		④継手位置	小ばりの端部接合方法（剛接合の基準線からの寄り寸法と高さ含む）	・小ばりの継手位置（基準線から小ばりの継手位置までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。										
		⑤端部接合方法	小ばりの端部接合方法（剛接合、ピン接合）	・小ばりの端部接合方法は、梁オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。										
		⑥小ばりの横補剛材の位置	小ばりの横補剛材（方づえ等）の配置（基準線からの寄り寸法含む）	・小ばりの横補剛材を、梁オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・小ばりの横補剛材の位置は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。										
		⑦小ばりの材料の種別	小ばりの使用材料（鉄骨の種別・強度）	・小ばりの材料の種別は、梁オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。										

番号	入出力基準			入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書（※網掛欄は対象外）									
	入出力基準に従い作成することで、 図書の整合性が担保される事項		入出力の方法	（使用構造材料一覧表・ 施工方法等計画書） 構造特記仕様書	基礎伏図	各階床伏図	屋根伏図	二面以上の軸組図	構造詳細図（断面リスト・ 配筋標準図・溶接基準図・ 高力ボルト標準図他）	基礎・地盤説明書	耐火構造等の詳細図	備考 ※図書の一部において、整合性確認の省略を求めない場合等は、その旨を備考に記載	
	細目	内容											
S-008	床版	①形状及び符号	床版の厚さ及び符号	・床版の形状（厚さを含む）を、床オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・床版の符号を、床オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		②位置	床版の有無・配置 （基準線からの高さ・片持ちの場合の基準線からの出寸法含む）	・床版の位置（基準線から床版の天端までの高さ及び片持ちの場合は基準線から先端までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		③開口の形状	床開口の外形形状	・床版の開口の形状は、を、床オブジェクトを用いて入力し、床開口を表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		④開口の位置	床開口の有無・配置	・床開口の位置（基準線から床開口までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		⑤材料の種別	床版の使用材料（コンクリートの種別・強度、鉄筋の種別・強度）	・床版の材料の種別は、床オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
S-009	斜材	①形状及び符号	斜材の外形（H型、円形、矩形）、せい、幅、径、厚さ、符号	・斜材の形状（せい及び幅等を含む）は、梁オブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 ・斜材の符号を、壁オブジェクトの属性情報を用いて表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		②位置	斜材の有無・配置 （K型、V型、X型等）	・斜材の位置（基準線から斜材までの距離）は、オブジェクトと連動して距離を表記する機能（寸法線ツール）を用いて入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		④材料の種別	斜材の使用材料（鉄骨の種別・強度）	・斜材の材料の種別は、梁オブジェクトに属性情報として入力し、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
S-010	モデル	①斜材の位置	基準線に対する位置	・構造モデルの斜材の位置は、意匠モデルの構造耐力上主要な部分の斜材の位置と一致する方法を用いて、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		②柱の位置	基準線に対する位置	・構造モデルの柱は、意匠モデルの構造耐力上主要な部分の柱の位置と一致する方法を用いて、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									
		③梁の位置	基準線に対する位置	・構造モデルの梁は、意匠モデルの構造耐力上主要な部分の梁の位置と一致する方法を用いて、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。									

番号	入出力基準			入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書 (※網掛欄は対象外)								
	入出力基準に従い作成することで、 図書の整合が担保される事項		入出力の方法	構造特記仕様書 (使用構造材料一覧表・ 施工方法等計画書)	基礎伏図	各階床伏図	屋根伏図	二面以上の軸組図	構造詳細図(断面リスト・ 配筋標準図・溶接基準図・ 高力ボルト標準図他)	基礎・地盤説明書	耐火構造等の詳細図	備考 ※図書の一部において、整合性確認の 省略を求めない場合等は、その旨を 備考に記載
	細目	内容										
S-010	モデル	④床版の位置	基準線に対する位置	・構造モデルの床版は、意匠モデルの構造耐力上主要な部分の床版の位置と一致する方法を用いて、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								
		⑤基礎の位置	基準線に対する位置	・構造モデルの基礎は、意匠モデルの構造耐力上主要な部分の基礎の位置と一致する方法を用いて、表示・表記する。 ・図表現の整合性を損なう入出力は行わない。								

番号	入出力基準		入出力基準に従って作成し、整合性確認の省略を求める図書 ○：該当する図書 -：該当しない図書（※網掛欄は対象外）										
	入出力基準に従い作成することで、図書の整合が担保される事項	入出力の方法	意匠図					機械設備					備考 ※図書の一部において、整合性確認の省略を求めない場合等は、その旨を備考に記載
			配置図	各階平面図	各階・各室の床面積	防煙区画の床面積	室内仕上げ表	仕様書	機器表・器具表	配置図	各階平面図	系統図	
機-009	防煙壁による区画（令第126条の2）	②面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	<ul style="list-style-type: none"> 令第126条の2第1項に規定する防煙壁による区画の面積は、「入出力基準【意-013②】を満たす意匠BIMモデルの空間オブジェクトで自動算出された床面積」と一致する方法を用いて、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 										
機-010	給気機及び排気機	①位置	<ul style="list-style-type: none"> 給気機及び排気機の位置は、機器番号を属性情報として入力した機械設備のオブジェクトを用いて入力し、表示・表記する。 図表現の整合性を損なう入出力は行わない。 										

・本基準では、BIM図面審査に適しているものを優先的に抽出しており、現時点の案では以下の項目は対象外としている。

建築基準法に基づく冷却塔設備、尿尿浄化槽又は合併処理浄化槽及び昇降機並びに消防法、ガス事業法、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律、高圧ガス保安法、水道法及び下水道法に基づく設備

